

日本評価学会 春季第11回全国大会日程 「評価の国際交流」

2014年5月31日（土）

9:30 - 10:00	受 付		
午前の部 10:00 - 12:00	<p style="text-align: center;">共通論題1 学校評価の評価者育成プログラム ～現場に必要な評価者を育てる取 組の比較検討～ (橋本 昭彦) Rm. 600</p>	<p style="text-align: center;">共通論題4 国際防災評価 (林 薫/和田 義郎) Rm. 201AB</p>	<p style="text-align: center;">自由論題1 自治体評価の諸相 (小野 達也) Rm. 202AB</p>
12:00 - 13:15	お昼休み (12:05-13:00 理事会)		
午後の部 I 13:15 - 15:15	<p style="text-align: center;">共通論題2 自治体戦略の協働マネジメン トとプログラム評価 ～自治体における政策評価の 新たな試み～ (源 由理子) Rm. 600</p>	<p style="text-align: center;">自由論題2 評価手法 (牟田 博光) Rm. 201AB</p>	<p style="text-align: center;">自由論題3 参加型評価 (高千穂 安長) Rm. 202AB</p>
午後の部 II 15:30 - 17:30	<p style="text-align: center;">共通論題3 ネパール政府が推進するモニ タリング評価実践例 (廣野 良吉) Rm. 600</p>	<p style="text-align: center;">共通論題5 行政評価のアカウンタビリ ティー指定管理者評価の功罪 (山谷 清志) Rm. 201AB</p>	

() は座長です。
自由論題報告の時間は原則として、発表20分、質疑8分、交替2分（計30分）です。

【大会参加費】	
学会員（正、学、賛）	1,000円
准会員	2,000円
非会員学生	2,000円
非会員一般	3,000円

発表会場： Rm. 600、Rm. 201AB、Rm. 202AB
大会本部： Rm. 601
休憩室： Rm. 602
理事会： 大会議室

**日本評価学会 春季第11回全国大会 「評価の国際交流」
プログラム詳細**

2014年5月31日（土）

9:30-10:00 受付				
午前の部 10:00-12:00				
共通論題1		学校評価の評価者育成プログラム ～現場に必要な評価者を育てる取組の比較検討～	Rm. 600	
		座長 橋本 昭彦 パネリスト 石田 健一	国立教育政策研究所 東京大学	
K1-1	学校を運営する上で役に立つ学校評価を実施する為に必要なこと		石田 楓軒	日本評価学会 学校専門評価士
K1-2	学校評価の評価者育成プログラム ～教育委員会における研修の実施～		橋本 昭彦	国立教育政策研究所
K1-3	学校評価の評価者育成プログラム ～学校内での教員に対する研修の実施～		池田 琴恵	東京福祉大学
K1-4	学校評価の評価者育成プログラム ～英国のInspectorsの養成を中心に～		植田 みどり	国立教育政策研究所
共通論題4		国際防災評価	Rm. 201AB	
		座長 林 薫 座長 和田 義郎	文教大学 国際協力機構	
K4-1	ODA「防災協カイニシアティブ」の評価と今後の防災評価の課題		林 薫	文教大学
K4-2	バングラデシュのサイクロン被害と避難態様に関する研究		日下部 尚徳	大妻女子大学
K4-3	コミュニティ防災協力の効果と課題 ～ソロモン諸島での事例～		三村 悟	福島大学 うつくしまふくしま未来支援センター
自由論題1		自治体評価の諸相	Rm. 202AB	
		座長 小野 達也	鳥取大学	
J1-1	地方議員の議会での質問に対する年間評価		本田 正美	東京大学
J1-2	地方自治体における行政評価に関する提案		谷口 敏彦	行政経営アナリスト
J1-3	自治体評価の向上－評価担当者の視点から		高千穂 安長	アジアサイエンスカフェ
午後の部 I 13:15-15:15				
共通論題2		自治体戦略の協働マネジメントとプログラム評価 ～自治体における政策評価の新たな試み～	Rm. 600	
		座長 源 由理子	明治大学	
K2-1	「自治体戦略の協働マネジメント」実践のねらい		北大路 信郷	明治大学
K2-2	協働マネジメントにおけるプログラム評価の導入 ～マネジメントと評価の融合を探る～		源 由理子	明治大学
K2-3	プログラム評価における社会調査の活用可能性： 「協働型社会調査」の試み		米原 あき	明治大学
K2-4	自治体戦略の協働マネジメントにおけるプログラム評価の実践		真野 毅	兵庫県豊岡市
自由論題2		評価手法	Rm. 201AB	
		座長 牟田 博光	東京工業大学	
J2-1	道路の問題点は何か調査結果		大島 章嘉	市民満足学会
J2-2	大学のガバナンスと経営効率性	○	山崎 その	京都外国語大学
			伊多波 良雄	同志社大学
			宮嶋 恒二	京都学園大学
J2-3	コミュニティ保健介入が妊産婦の健康希求行動に与える影響： バングラデシュ母性保護サービス強化プロジェクトの事例	○	青柳 恵太郎	国際協力機構
			神谷 祐介	龍谷大学
J2-4	研修の波及効果についての費用便益分析－JICA課題別研修を事例として－	○	菊田 怜子	フリーランスコンサルタント
			岸本 昌子	(一財)日本国際協力センター
自由論題3		参加型評価	Rm. 202AB	
		座長 高千穂 安長	アジアサイエンスカフェ	
J3-1	効果的プログラムモデル形成のための実践家参画型評価アプローチ法の開発（その3）：「実践家参画型ワークショップの活用」に注目して	○	新藤 健太	日本社会事業大学
			大島 巖	日本社会事業大学
			大山 早紀子	日本社会事業大学
			方 真雅	日本社会事業大学
			高野 悟史	日本社会事業大学
			鈴木 真智子	日本社会事業大学
			宇野 耕司	目白大学
J3-2	モスト・シグニフィカント・チェンジ(MSC)の実践 指標を用いない参加型手法～バングラデシュでの実践からの教訓		田中 博	参加型評価ファシリテーター
J3-3	ロジック・モデルを活用した市民参加型意思決定システム ～東海市を事例として～		海川 能理子	名古屋大学

午後の部Ⅱ 15:30-17:30

共通論題3		ネパール政府が推進するモニタリング評価実践例		Rm. 600	
		座長 廣野 良吉 成蹊大学 パネリスト 湊 直信 国際大学 パネリスト 佐々木 亮 (株)国際開発センター			
K3-1	Capacity Building in M&E - Challenges and Lessons within the International Development Context		大内 文香	国連開発計画	
K3-2	Current Practice and Issues in the Development of Monitoring and Evaluation System and Evaluation Professionals in Nepal		Dilip Kumar Chapagain	ネパール政府国計画委員会	
共通論題5		行政評価のアカウンタビリティー指定管理者評価の功罪		Rm. 201AB	
		座長・司会・コメンテータ 山谷 清志		同志社大学	
K5-1	「男女共同参画政策の推進に向けた評価に関する調査研究」の結果より	○	内藤 和美	芝浦工業大学	
			山谷 清志	同志社大学	
			高橋 由紀	国立女性教育会館	
K5-2	公務との均等待遇と評価—NPO「活動者」を手がかりに		渋谷 典子	NPO参画ブラネット	